

総務

2月19日 協議会開催

幸田町と岡崎市は、平成30年4月から消防指令業務を共同運用し、消防力強化をすすめる。

Q 町のメリットは。

A 整備経費や人員配置の効率化が図られる。

Q 整備経費の削減は。

A 個別に設備更新した場合に比べ2700万円減。

企業立地の状況

野場松ノ本地区への企業進出予定。

Q 地権者の意見は。

A 地権者会を開催する中で、企業が進出することに対して反対はなかった。周辺環境への配慮の要望があった。

Q 進出を計画する企業の



消防司令室（岡崎市）

A 町内の従業員は。町内から15人ほど。

今後も地元雇用に努めたこと。

消防指令業務の共同運用

斎場整備工事業者決まる

産業建設

2月18日 協議会開催

蒲郡市幸田町衛生組合斎場整備事業の入札が1月30日・2月16日におこなわれた。その他管理費を含め総額14億3529万円。本体工事

(株)北川組蒲郡支店

8億1216万円

電気設備工事

愛豊電気(株)蒲郡営業所

1億9008万円

機械設備工事

辻村工業(株)幸田営業所

9699万4800円

火葬炉設備(随意契約)

(株)富本工業所名古屋支店

1億7050万2300円 供用開始予定は。

A 平成28年夏ごろの予定

Q 町の負担割合は。

A 町は32・5%（市と町の人口割合による）

菱池遊水地計画は買収方式で

計画の概要は、遊水地区域約24ha、湛水容量64万トン、用地取得は買収方式である。

Q 土地利用計画はどのように考えるか。

A 親水ゾーンなどがある公園形式のものを考えていきたい。



斎場パース図

幸田小学校 3階建校舎を増築

文教福祉



増築予定場所

幸田小学校

2月16日 協議会開催

北部地区の児童生徒数の増加が著しい。早急な対応が必要な幸田小学校の増築案がまとまった。

いじめ防止基本方針
複雑化・多様化する問題に対処するため、新たに基本方針を策定した。

- Q いつから教室が不足するのか。
- A 平成29年4月から。
- Q 足りない教室の数は。
- A ピーク時は平成32年に、7クラスの普通教室の他に、少人数指導用の教室や多目的室が必要。
- Q 増築する場所は。
- A 現校舎の南に、3階建の校舎を建設。
- Q 「いじめ・不登校対策協議会」はそのままか。
- A 警察、児童相談所、医師などとの連携を強化。
- Q 新たに調査委員会が設置されるか。
- A 重大事態のいじめが起きた時、教育委員会の附属機関として調査を実施。
- Q 重大事態のいじめとは。
- A 自殺、傷害、金品などの重大な被害の場合。

防災対策

2月9日 協議会開催

幸田町地域防災計画の修正、地震防災ハザードマップ、自主防災会資機材の整備などを協議。

- Q 要配慮者とは。
- A 高齢者、身体などの障がい者を始めとする災害弱者である。
- Q 要配慮者の登録者数は。
- A 129人。
- Q 要配慮者の名簿を区長に開示できないか。
- A 個人情報関係もあり、内部で協議したい。
- Q 緊急車両の通行を阻害するものの強制排除は。
- A 計画にそぐわない場面が想定される。県に確認する。

要配慮者への
対応は



総合防災訓練

地震防災ハザードマップ

Q マップに本光寺を紹介する理由は。

A 東御廟所の土塀が三河地震で倒壊したことを紹介するのが目的。

Q 三河地震により倒壊したという確認は。

A 写真や文献資料はない。

自主防災会資機材の整備

Q 全区に防災用車両の設置は。

A 区の予算によるもの。折りたたみ式リヤカーを配付した。

総合開発

幸田駅前事業
進捗率69・6%



幸田駅前

2月5日 協議会開催

幸田駅前土地区画整理事業のBブロックなどの進捗状況の協議をおこなった。

Q 銀行の建設はいつごろか。

A 平成28年度に予定。

Q マンション建設の予定は。

A 白紙に戻り、地権者で検討中。

Q 県道の拡幅は。

A 芦谷蒲郡線は平成27年度、幅員20m、延長76m。

Q 国道248号までの予定は。

A 500mは県の街路事業、残り500mはめどが立たず。

Q 駅前のコンセプトはどう考えているのか。

A 駅前広場側が重要になる。バス停、交番、駐輪場の位置も再度考えていく。

Q 線路側の公園用地の活用は。

A 地元と協議し、新年度方向性を決める。

みんなでつくる
元気な幸田

総合計画



子育てしやすいまちに

2月12日 協議会開催

今後10年間のまちのあるべき姿を示す第6次総合計画の基本目標の第3章から6章までを協議。

第3章「産業振興」

幸田から全国へ世界へ
Q 林業を入れていない理由は。

A 森林を生かし資源を活用するという観点です。める。

Q 地場産業を育てるため、幸田ブランドと人づくりの項目の盛り込みを。

A そろそろ表現も検討する。

第4章「健康・福祉」

お年寄りまでみんなが元気

Q 就学前教育の担当部署に教育委員会を入れるべきでは。

A 保育園から高校までの一貫教育を検討している。

第5章「教育・文化」
きたえよう「こころ」からきたえよう「こころ」からきたえよう

Q 食育に伝統食文化を学ぶ機会を盛り込んで。

A 食育は農業の項目に入れたが、伝えるべきものは取り入れる。

第6章「協働・参画」
みんなのちからでつくるまち

Q 一番目に男女共同参画となっているが、地域の協働を先に持つてきては。

A 性別にとらわれず、すべての人が平等という意味合いとした。

Q パブリックコメントの計画は。

A 広報で予告し、時期は5月から6月を予定。

一般質問その後 追跡

あの答弁は
どうなったの



児童遊園

平成25年6月定例会

酒向弘康 議員

遊具の安全対策

遊具や施設の不具合を見発見したら、通報、対応できる表示などの明記を。

遊具に連絡先と製品番号表示を随時設置していく。

その後

ちびっ子広場、児童遊園で54カ所、都市公園、街区公園の10カ所に連絡先を明記した看板を設置。



広域複合災害を学ぶ

議員研修会

平成27年1月14日、「南海トラフ巨大地震被害軽減の課題」をテーマに、名古屋大学減災連携研究センター 特任教授金田義行氏を講

師に、議員研修会を開催。広域複合災害を考える、という内容で、海溝型地震の発現機序と、過去の地震津波、液状化被害の状況を確認。今後予想されている東海



丸山千代子議員 自治功労者表彰

3月2日の定例会開会日に全国自治功労者表彰と町長感謝状が贈呈され、大須賀町長から敬意と感謝の言葉がありました。これは、議員在職27年以上の功績によるものです。



研修風景

東南海、南海地震に対する災害予測を示し、備えの重要性、緊急性を示された。幸田町でも直接津波の被害はないにしても地震で揺れて地盤がゆるんだ後に台風、豪雨により地すべり被害が起こり得るということ視野に入れた対策を考えていかなければならない。